

先輩に続け

大学での出会いを 将来につなげる

徳島大学病院 歯科
細川 由樹 (ほそかわゆき)

私は平成24年3月に徳島大学歯学部歯学科を卒業したのち、一年間の研修医期間を挟みながら昨年3月徳島大学大学院口腔科学教育部の博士課程を卒業しました。現在は、大学院時代に所属していた歯科第一保存科の助教として勤務しています。

歯科医師というと、皆さん一般的には開業医の歯医者さんとして歯科治療に従事しているイメージをお持ちだと思います。家族や身近に医療関係者がいなかった私も、それ以外の選択肢を知らないまま入学しました。そうした中で、大学三年生の時に自分で選んだ研究室に一年間配属され、研究を見学したり実際に手を動かしてみると、この基礎ゼミの時間が、そこ

で大学院生の先輩に話を聞いたり実験を行ううちに、自分も将来は大学で診療だけでなくいろいろなことをしたいと思うようになりました。

私のような臨床系の分野の大学教員は、学生教育、診療、研究が仕事の中心です。学生を指導することは自分自身とても勉強になります。初めて学生実習を担当したときには、改めて教科書を隅々まで読んで専門書や論文を探したりして、自分が学生だった頃とは比べ物にならない程度予習をしました。学生からの質問がきっかけで新たに気づかされることや、普段の診療に対する意識が変わることもあります。診療に関して、大学病院では個々の専門領域で複数の

担当医が1人の患者さんを診ることで治療方針や経過について担当医が集まり検討する機会があります。自分の考えや知識だけでなく、他分野の深い専門性を持った先生との話はとても学ぶところが多いです。また、身近には自分の分野の先輩がいるので、意見やアドバイスを頂くこともあります。研究は、思い通りにいかないことも多いですし集中力や忍耐も必要ですが、結果が出た時の達成感、発表が上手くいった時の気持ちはなかなか他では味わえない気持ちですし、少しでも新しいことをしているというのはわくわくすることでもあります。

学生の間には、実習先の先生や大学の先生、部活のOBの先輩、親戚や親など、たくさん先輩と出会って話したり仕事を見る機会があるといます。大学で印象に残る授業をしていた先生、患者さんに頼りにされている先生、開業しながら大学で研究をしたり、学会で発表している先生も多くいらっしゃいます。そういう出会いを大切に、将来自分がどんな人生にしたいか考えてみてください。大学生活の間にはしっかりアンテナを張って有意義で楽しい時間にするには、将来きつと人生の役に立つと思います。



総合科学部 人間文化学科 4年
上本 瑞希 (うへもとみずき)

こんにちは。徳島大学総合科学部人間文化学科・国際文化コースの上本瑞希です。実は現在、2回目の4年生を過ごしています。私はサークルやクラブには所属していませんが、卒業を遅らせてまで満喫している学生生活について、留学や旅の経験を交えながら紹介したいと思います。

私の学生生活を語る上で、徳島大学の提携校であるビショップス大学(カナダ)への交換留学は外せません。入学当初から長期留学をするのが目標で、留学説明会には頻りに足を運んでいました。大



パーティでの1枚(本人中央)



ビショップス大学でのクリスマスイベント(本人中央)

学2年の時にモナシユ大学(オーストラリア)へ1カ月の短期留学を経験した後、3年の9月から8カ月間カナダに滞在しました。ビショップス大学はいい意味ですごく小さな大学です。食堂で何度も顔を合わせているうちに気づいたら友達になっていった、なんてこともよくありました。海外の学生のライフスタイルで一番気に入ったのは「オンとオフの切り替え」です。週末、夕方までは図書館で一生懸命勉強していた学生も、夜開かれるパーティーではまるで別人のように騒いでいました。彼らと過ごす自然に「遊びと勉強」どちらも全力で楽しむことができました。この留学を通してできた数えきれないほどの友人と出は、

大学生の宝物です。次に、私の趣味であるひとり旅についてです。私が初めてひとり旅に出かけたのは大学1年の春休みでした。自分の周りの人たちがすごく楽しそうに学生生活を謳歌していたので、私も何か楽しいことがしてみたい、と思い当時最も興味があった沖縄に行くことを決心しました。初めて会った人と食卓を囲んでご飯を食べる、目の前に海がある、そんな魅力に惹かれて、あるゲストハウスに滞在しましたが、そこで出会った人々が私の人生を大きく変えてくれました。沖縄での9日間は「やりたいことをやりながら好きに生きればよい」そんな教訓を教えてください。そのような気がします。そこから旅に

My Life Situation

アルバイト
国際交流会館2F
英語学習スペース「ELCS」
スタッフ、塾講師
趣味
ひとり旅

はまった私は、日本国内のみならず、台湾、カナダなど海外でのひとり旅も経験しました。留学や就職活動の関係から、卒業を1年伸ばしましたが後悔はまったくしていません。留学説明会のプレゼンター、My Campus Lifeの執筆、学術誌掲載に向けての卒業論文編集など、おまけの1年を有意義に過ごしています。就職活動が落ち着けば、ゲストハウスで住み込みのアルバイトをする予定です。

大学生活は限られています。自分の好奇心やワクワクする感情に素直になり、できることはどんどん挑戦してみてください。この記事を読んだみなさんが、オリジナルであふれる素敵な学生生活を送ることができるよう、願っています。最後になりましたが、今回このような貴重な執筆の機会を与えて下さった関係者のみなさまに心から感謝申し上げます。



カナダで迎えた21歳の誕生日



沖縄で滞在したゲストハウスにて



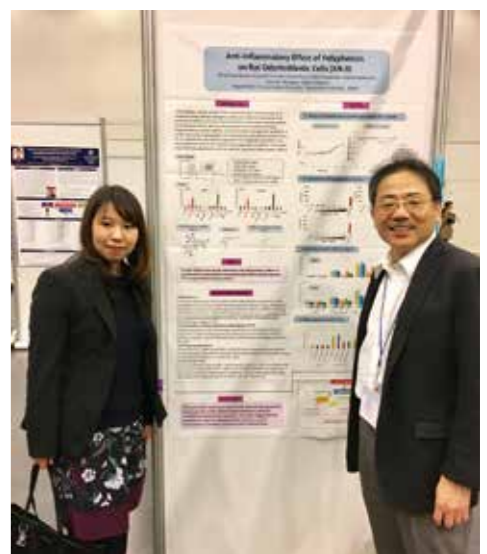
他大学の友人の誘いで参加したキャンプ



公聴会



学位記と学部のクラス担任だった三宅元教授(口腔微生物学)



サンフランシスコで開催されたIADR(国際歯科研究学会: International Association for Dental Research)にて発表したポスター前にて松尾教授と